経営比較分析表（令和4年度決算）

徳島県　三好病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	学術・研究機関出身
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※1**	**指定病院の状況　※2**
直営	19	対象	透 Ｉ 訓 ガ	救 臨 感 へ 災 地
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
718,879	21,511	－	第１種該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
206	－	8
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
－	6	220
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
166	－	166

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

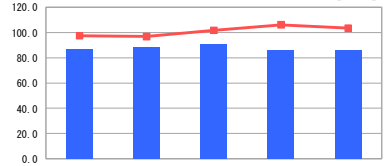
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

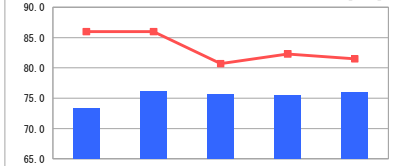
【103.5】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	86.9	88.6	90.5	86.2	86.0
平均値	97.5	96.9	101.8	106.2	103.5

②医業収支比率(%)

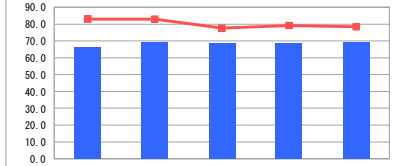
【86.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	73.3	76.1	75.7	75.5	76.0
平均値	86.0	86.0	80.7	82.3	81.5

③修正医業収支比率(%)

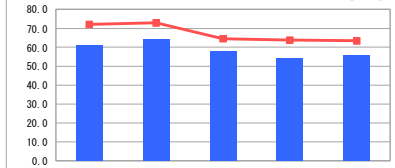
【83.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	66.1	69.2	68.8	68.8	69.4
平均値	83.1	83.0	77.6	79.2	78.4

④病床利用率(%)

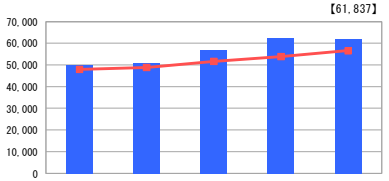
【66.8】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	61.3	64.2	58.0	54.2	55.9
平均値	72.1	72.9	64.5	63.8	63.4

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

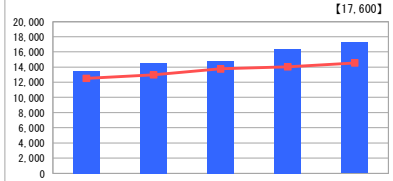
【61,837】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	50,248	51,110	57,080	62,372	62,179
平均値	47,924	48,807	51,594	53,805	56,563

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

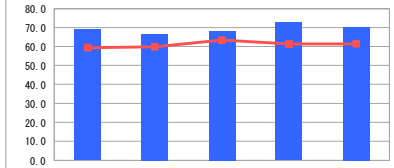
【17,600】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	13,443	14,498	14,828	16,340	17,234
平均値	12,502	12,970	13,767	14,046	14,550

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

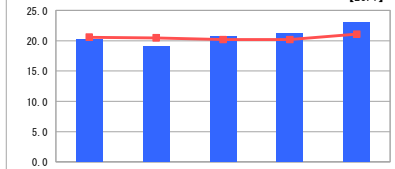
【55.6】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	68.9	66.5	68.3	72.7	70.1
平均値	59.4	59.9	63.4	61.3	61.4

⑧材料費対医業収益比率(%)

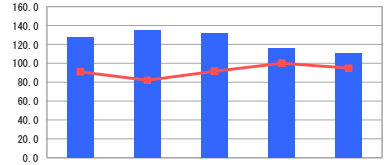
【25.1】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	20.2	19.1	20.7	21.2	23.0
平均値	20.6	20.5	20.2	20.2	21.1

⑨累積欠損金比率(%)

【63.0】

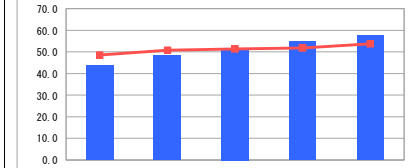


	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	127.9	134.7	132.0	116.3	111.1
平均値	90.8	81.9	91.6	100.1	94.9

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

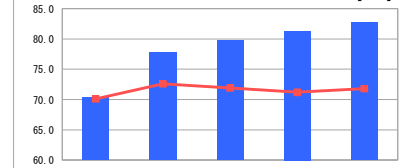
【56.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	43.6	48.5	51.8	54.7	57.7
平均値	48.6	50.8	51.4	51.9	53.8

②器械備品減価償却率(%)

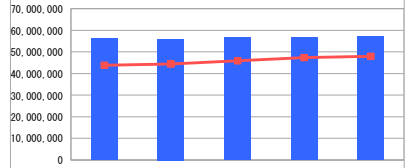
【70.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	70.3	77.8	79.8	81.3	82.7
平均値	70.1	72.6	71.9	71.2	71.8

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,963,977】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	56,115,891	56,024,936	56,692,341	56,771,745	57,207,182
平均値	43,785,070	44,436,827	45,896,030	47,415,042	47,985,814

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

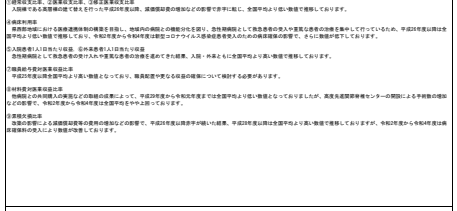
Ⅰ 地域において担っている役割

三好病院の診療圏の大半を占める三好市及び東みよし町は、山間部が多く、若年層の流出と少子高齢化、過疎が進行している地域となっており、高齢夫婦世帯、独居老人世帯が大半を占めております。

当病院は県西部唯一の総合的な病院として地域に密着した役割を果たしており、特に救急医療関係の占める割合が高く、二次救急に加え、三次救急も担っております。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について



2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率

平成26年度に改築を行い、全国平均より低い数値で推移しておりましたが、減価償却が進み、令和2年度以降は全国平均を上回っております。

②器械備品減価償却率

平成26年度の改築にあわせて器械備品の更新を行い、平成28年度までは全国平均より低い数値となっておりましたが、減価償却が進み、平成29年度以降は全国平均より高い数値となっております。

③1床当たり有形固定資産

平成26年度に改築と器械備品の更新を行い、高度医療を実施してきたことから、全国平均より高い数値で推移しております。

全体総括

三好病院の経営は改築に伴う減価償却費の増加等の要因により、近年厳しい状況が続いております。

今後の経営にあたりましては、「四国中央部の拠点」として急性期医療機能の発揮を目指して、適正な平均在院日数の管理と新規入院患者数の増加、施設基準の積極的な取得に取り組むとともに、令和2年度に開設した高度先進関節脊椎センターでの先進医療の実施など地域の医療需要に応じた医療の提供を行い、収入の拡大を図ってまいります。

また、後発医薬品の使用拡大や医療器械、医薬品、診療材料の共同購入等を推進して経費削減に努めるとともに、施設、医療器械の整備につきましても、投資効果を十分に検討したうえで戦略的に整備を行うことで、経営の健全化と効率化を図ってまいります。